

鉄道ピクトリ

1962年8月号 Vol. 12 No. 8

[信濃の鉄道特集号]

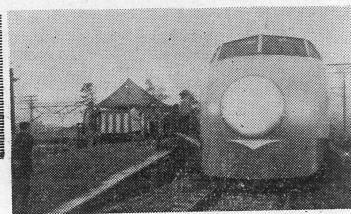


表 紙 「高原を目指して」 小林宇一郎

カラー写真 「信濃路の白鳥号」 小林宇一郎

グラフ

信濃路を行く 白井 茂信 7

信濃の鉄路 〈その1〉 藤井淳一郎・白井良和・高松吉太郎 8

信濃の鉄路 〈その2〉 望月泉男・白井良和・小林宇一郎・柴橋達夫 10

信濃の鉄路 〈その3〉 大糸線をめぐって 白井良和 12

宮沢元和・村本哲夫・望月泉男 12

信濃の鉄路 〈その4〉 小林宇一郎・白井良和 14

3線電化開業の表情 [新潟電化] 編集部・岸幸男・瀬古竜雄 39

[福井電化] 西脇恵・佐竹保雄 40

[広島電化] 吉田博重 41

碓氷線の新鋭 杉田 肇 42

長野電鉄の代表的車両 村本 哲夫 44

鉄道科学大博覧会 SNAP 萩原 二郎 46

わだいのくるま [117] E F 62・63形直流電気機関車 71

トピックフォト (新潟・関東・関西・中国・中京) 72

消えた岡崎市電 白井 昭・白井良和 72

わだいのくるま [118] 山陽電鉄全軽合金電車 2000系 78

記 事

「今月の話題」新幹線電車モデル線で走り出す 3

信濃路の電化 佐々木 貢 4

信濃の鉄道のあゆみ [上] 岩下 忠美 15

信州の気動車 小林宇一郎 19

大糸線をめぐって 宮沢 元和 23

信州の機関車 岩下 忠美 26

しなの・アルプス・志賀 etc 氷室 俊 28

新幹線モデル線用車両の輸送 小椋 康夫 31

信越線高崎—横川間電化工事の概要 佐々木 貢 34

スイス旅日記 ベルヌからブリュイグまで 檜上 文雄 36

鉄道科学大博覧会見たまゝ 萩原 二郎 47

中央線中野—三鷹間線増工事着工さる 岡部達郎・宇野浩彰 49

漫 筆③軌道の不思議 和久田康雄 52

私鉄車両めぐり (49) 長野電鉄 村本 哲夫 53

北陸トンネル初くぐり—“越前”とんぼ返り道中記 土田 進 61

新潟電化を現地にみる 中川 浩一 64

6月のメモ帖 66

質問に答える 67

読者短信 68

鉄道の話題 70

車両の動き 79

T T K だより・後部車から 80

修了式会場と試乗用B編成 37.6.26
鶴宮基地にて 大塚 滋

今月の話題

新幹線電車モデル線で
走り出す

東海道新幹線のうちモデル線 (綾瀬一小田原間約37キロ) の一部、大磯一小田原間約10キロが完成、すでに鶴宮基地に搬入を終った試作電車6両 (2両固定のA編成と4両固定のB編成2編成) を使って6月26日10時から試運転開始式が十河総裁・島技師長らの国鉄関係者ほか報道関係者が百余名参列して行なわれ、つづいてB編成の試運転電車の晴れの初走が試みられた。

これにより、モデル線区における試運転が本格的に開始されたわけであるが、このテストは新幹線計画審議室を中心に、臨時車両設計事務所、構造物設計事務所なども参加、実際の運転はモデル線管理区が行ない、測定は鉄道技術研究所が担当するなど、国鉄技術陣の総力をあげて行なわれるうことになる。

モデル線区での試験計画は、7月15日から第1次速度向上試験として、10キロ程度の区間で現在線程度の速度で最小限の走行安全に必要な測定を行ない、その後線路延長をまって9月から第2次速度向上試験と第1次高速総合試験が行なわれる。このときの最高速度は170～200キロを目標とするが、つづいてモデル線区37キロの全線開通をまって、第2次高速総合試験を行ない、最高速度200～250キロを目標として実施される予定である。

これにより、国民待望の新幹線は完成を2年後にひかえて、建設工事の進捗とあわせて、超特急電車の試運転もいよいよ核心に突入することになる。

表紙 「高原を目指して」

小林宇一郎
「志賀号」5301レキハ57 2連 長野電鉄線夜間瀬付近にて 37.6.11
パールⅢ f:5.6 1/250 フジネガ
カラー